

■東北地方太平洋沖地震 東京消防庁の活動

(24分32秒) -映像解説-

<映像の概要>

映像は、東京消防庁のハイパーレスキュー隊（HR）を含む消防隊や災害派遣医療チーム（DMAT）などによる東京都派遣隊の活動の様子です。

東京都派遣隊が都内を出発してから、気仙沼市内で地元の消防隊とともに活動を行う様子を記録しています。

<災害の概要>

- 平成23年（2011年）3月11日（金）、午後2時46分、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が起きました。揺れの強さを示す「震度」はもっとも強かったところで7、地震の大きさを示す「マグニチュード」は9.0となりました。

これは、これまでに日本国内で観測された中で最大です。

この地震は、大津波や余震をともない、東北地方から関東地方にかけて、大規模で深刻な災害をもたらしました。

多くの方が犠牲になり、家や仕事を失い、また漁場や農地が打撃を受けました。

この地震により亡くなった人、行方が分からなくなった人は19,578人（消防庁公式サイト「被害報」より、平成23年11月30日現在）とされていますが、その9割以上は津波によるものです。

津波は北海道から沖縄まで全国の海岸で観測されました。特に岩手県、宮城県、福島県の沿岸部では多くの方が津波にのまれ、建物が流されるというたいへんな被害をもたらしました。

また、福島県双葉郡にある東京電力福島第一原子力発電所が、この地震および津波により大きな被害を受けました。

これにより重大な原子力事故が起き、放射性物質が大気中に放出されたため、被災地をはじめ、広い地域にわたって生活に影響をもたらしています。

さらに、関東・東北地方で地面の液状化現象が発生し、千葉県、東京都といった東京湾沿岸を中心に大きな被害がありました。

いっぽうで防災や、被害を受けたあとの対策の大切さがあらためて見直されました。また、平成7年（1995年）の阪神大震災をきっかけに広まった「災害ボランティア」の活躍や、それを支援する動きが見られました。

- 宮城県気仙沼市では、震度6弱を観測しました。沿岸部には大きな津波が押し寄せ、また広い地域で火災も発生するなど、いちじるしい被害がありました。

<映像の流れ>

映像は以下の流れのとおりです。

見出し	内容
千代田区大手町の状況 (00:00 ~00:38付近)	3月11日の午後5時ごろ、東京消防庁の東京都派遣隊がサイレンを鳴らしながら都内を出発し、気仙沼に向かう様子です。歩道が帰宅中の人たちであふれています。
東北自動車道の状況 (00:39 ~01:08付近)	3月11日から12日の早朝にかけて、東北自動車道の状況をとらえた映像です。道がくずれたり、ひびわれたりしている様子がわかります。緊急車両以外の車両は4月10日まで通行を禁止されました。
サービスエリアでの給油 (01:09 ~01:51付近)	サービスエリアで給油を行い、岩手県一関のインターチェンジから気仙沼市内に入っていきます。
気仙沼市鹿折地区での消火活動 (01:51 ~03:45付近)	3月12日の11時ごろから気仙沼市鹿折（ししおり）地区で行われた東京消防庁と気仙沼市の消防隊の消火活動の様子です。がれきがつみ重なり、道がくずれているなかで、隊員が消火の準備をしている様子を見ることができます。
鹿折川右岸の状況と老人保健施設からの救出活動 (03:46 ~05:34付近)	3月12日の13時ごろ、隊員が老人保健施設から生存者の方を救出する様子です。車椅子の人を含む施設の人たちを、隊員が徒歩で救出する様子を見ることができます。
鹿折唐桑駅付近 (05:35 ~06:36付近)	がれきのなかで続く消火活動の様子です。津波で500メートルも流された漁船「第十八共徳丸」も見ることができます。
新浜町の孤立家屋からの救出活動 (06:37 ~07:51付近)	避難ができなくなった人たちのいる「孤立家屋」から、隊員が住人を救出しています。ひざ近くまでの深さの水や、くずれた道やがれきのなかで、たんかですりだり、誘導したりする様子を見ることができます。
中みなと町付近～現場指揮本部(鹿折高架橋)～鹿折川右岸 (07:52 ~09:59付近)	がれきのなかで広がる火事に対する活動の様子です。夜も打合せが続き、隊員がカップめんの夕食をとり、テントで一夜をすごす準備をする様子も見ることができます。また、3月13日の深夜に行われた消火活動の様子もとらえられています。
現場指揮本部(鹿折高架橋)付近～孤立家屋からの救出活動～東京DMATが活動開始～道路上に「SOS 50人」のサイン～水難救助隊による本浜町付近での救助活動 (10:00 ~18:51付近)	3月13日の午前中から行われた、波板地区と本浜町での活動の様子です。ハイパーレスキュー隊、水難救助隊と気仙沼消防が協働し、孤立家屋から救出した人をたんかに乗せ、大きくがけ崩れている山道を運ぶ様子などが見られます。運ばれた先では、災害派遣医療チームによる活動が行われています。

見出し	内容
錦町付近の被害状況 (18:52 ~20:19付近)	3月13日の午後3時ごろの、錦町の津波被害の様子です。流された車がコンクリートの建物にぶつかり、はり付けたようになっている様子を見ることができます。
避難所(鹿折中学校)の状況 (20:20 ~21:11付近)	避難所となった、中学校の体育館の状況です。 安否情報を知らせる紙が多数はられています。
中みなと町付近における道路啓開と警戒筒先配備～各家屋の安否確認の状況～被害状況と国道34号線の道路啓開状況 (21:12 ~23:08付近)	津波火災の被害を受けた、中みなと町の様子です。 退院による、家屋の安否確認や、工事車両による活動の様子を見ることができます。
大津波警報発令 (23:09 ~23:53付近)	3月14日午前10時50分ごろ、大津波警報が発令されました。 消防隊がサイレンを鳴らし、スピーカーを使って高台への避難をうながしています。
現場指揮本部前での報道発表 (23:54 ~24:32)	鹿折高架橋の現場指揮本部前で、隊員が被害状況について、報道発表を行っている様子です。

撮影日時：平成23年（2011年）3月11日～3月14日

撮影場所：都内～東北自動車道～宮城県気仙沼市

撮影者：東京消防庁

提供：東京消防庁

●映像のなかに出てくる用語

- ・東京D M A T＝災害現場や事故現場で医療処置を行うための専門知識等を修得した医師や看護師等で編成される災害医療派遣チーム。
- ・道路啓開＝道路の障害物を取り除くこと。
- ・2HR＝東京消防庁第2消防方面本部消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー隊）。